

# 安心を創る

—まちで働く・まちで暮らす—

社会福祉法人シンフォニー  
理事長 村上和子

「駆けつける」  
「駆け込める」  
相談支援

相談  
支援

地域住民に見える  
形でともに働き・  
活動し・暮らす

4つ  
の力

安心

理解

体験による社会  
生活力のエンパ  
ワメント支援

サー  
ビス

必要なサービスを提供  
無いなら新たに創る

# 無いなら創ろう

平成2年長男が養護学校に入学。スクールバスのない時代、親が毎日送り迎え。ある朝、中学部生徒の母親達が校舎の隅に集まっていた。見ると、涙ぐんでいる人が・・・

卒業後通う先がない  
施設は待機者だらけ  
無いなら自分が創ろう  
各地を視察⇒報告

「入所施設が安心」の声  
⇒ **地域の目が怖い**

- ◆理解が進まないのは **出会い** が無いから？
- ◆施設の中の安心はあっても **地域の中の安心** が無いから？



ネバーランド  
**NEVER LAND**

1号店（森町）※写真は移築後

平成5年版 厚生白書

バリーのお話に出てくる夢と冒険の島の名前  
**NEVER（存在しない）LAND（島）**

# ネバーランド1号店 OPEN



小物と野菜販売の店  
平成3年11月

## 資金計画

融資を受け  
ともに働き  
月々返済

## 融資条件

- ①名義
- ②担保

## 結果

融資OK

## 大分県の広報誌 取材インタビュー

Q：開設までに一番**苦勞**したことは？

A：**女性**が**資金を借りる**のが、これほど大変とは

## やさしさライフビジネス支援資金 誕生！

「人や地域にやさしい事業、女性の起業等」に対して ①**事業計画+熱意⇒担保不要** ②**設備・運転資金 各500万円迄**

2号店

3号店

包装  
センター

短期宿泊  
五番館

コンパル店

社会福祉法人  
シンフォニー



市民ホール



単位制高校



中央警察署



芸術系短大・高校



大分県庁



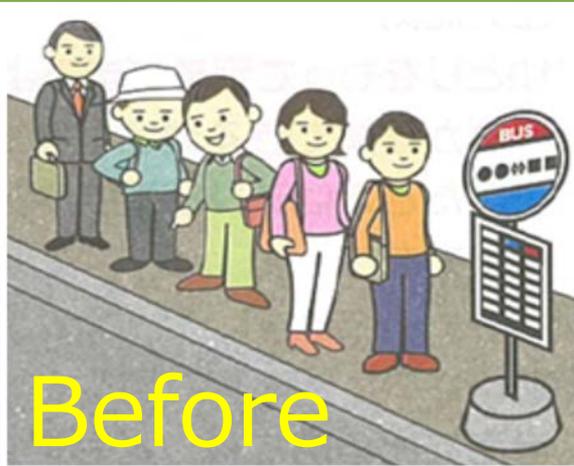
市民行政センター



看護系大学

知的障害があるとバスや電車でひとりで乗車できない。家族や施設の送迎でしか移動できない。

⇒ 本当にそうなのでしょうか？

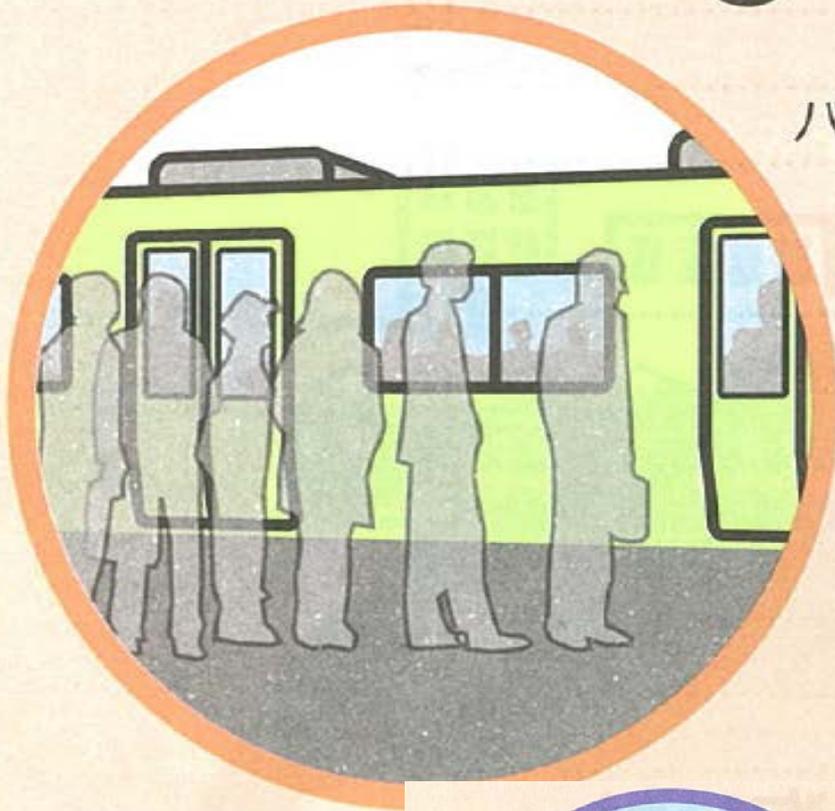


乗車練習の繰り返し（10回程度）

いいえ、「障がいがある」からではなく  
「必要な支援と乗車の機会がなかった」からで  
きにくいままだったことが乗車実験で明らかに

# ひとりで乗りたい♪

バス・鉄道による乗車実験をもとにした  
通所自立支援マニュアル

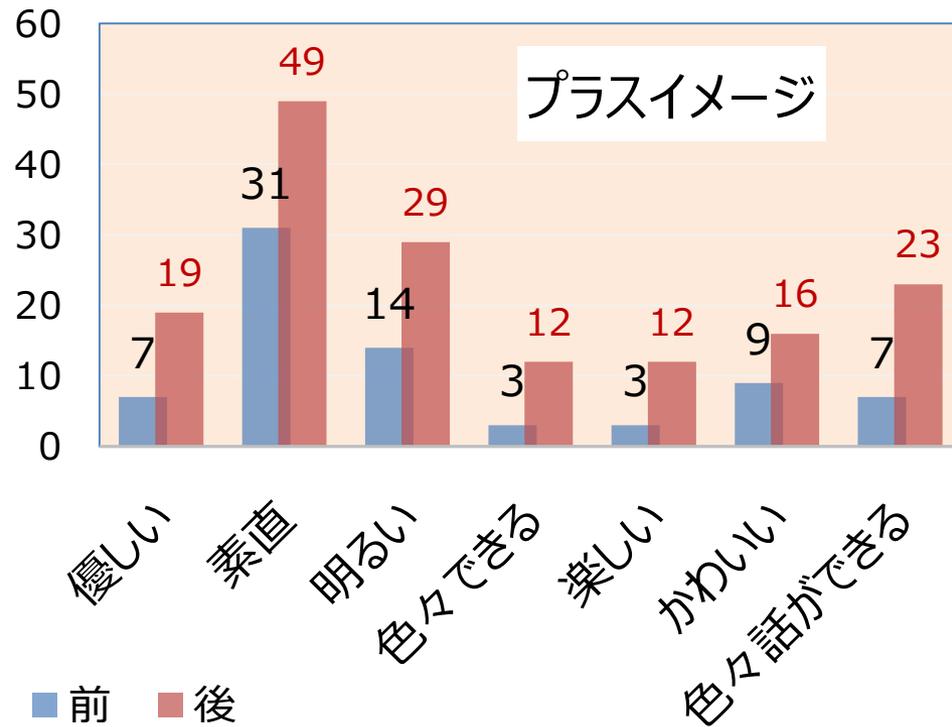
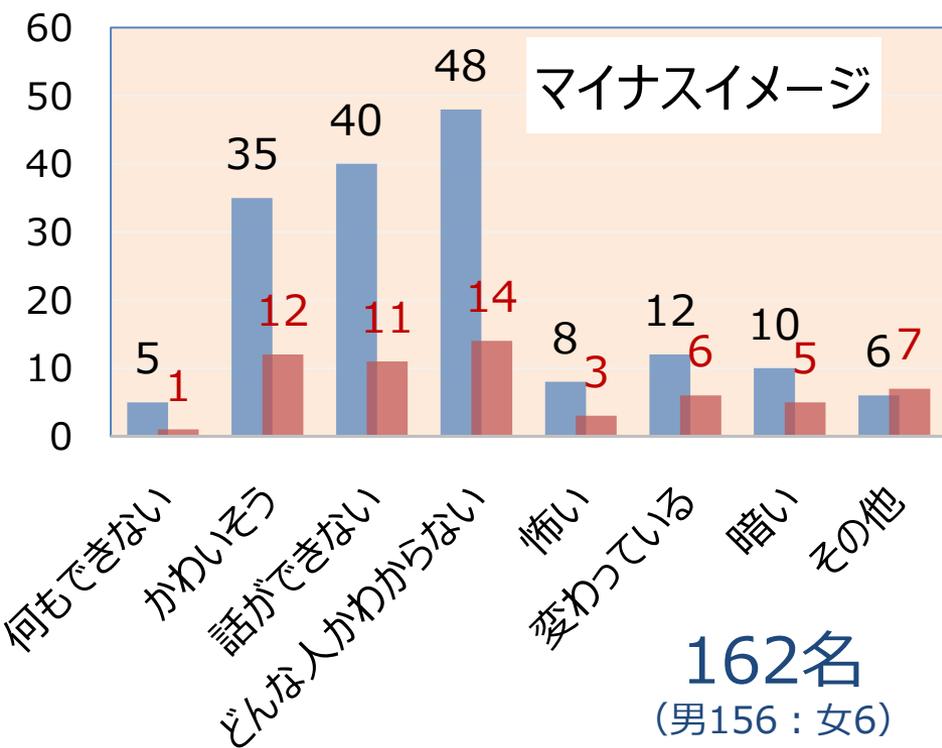


大分県のホームページからダウンロードできます

# タクシーによる通所・帰宅支援

公共交通機関の利用

地域の理解を進めるために



# 地域生活支援拠点モデル事業

## 安心コールセンター

身体 知的・児童 精神

委託相談支援事業所

支援  
要請

緊急対応  
支援員

登録支援員①

登録支援員②

身近な支援者

日中の利用先

計画相談事業所

ヘルパー事業所

短期入所 等

その他頼れる人

緊急  
相談

24H  
365日

- ① 駆け込める
- ② 駆けつける
- ③ 緊急時ステイ

自宅・ホーム

障害のある人  
家族・地域

緊急時出動

